

研究に関するお知らせ

ー 画像検査を受けられた患者さんへ ー

東京大学医学部附属病院では、画像診断のさらなる発展のため、検査結果の画像や所見を後日研究目的で使用する場合があります。この研究は東京大学医学部倫理委員会での審査・承認後に関連する研究倫理指針に従って実施されます。

〔研究課題〕

診断支援ソフトウェアの開発を目的としたシステムおよび画像データベースの構築（東京大学医学部倫理委員会審査番号：1461）

〔研究機関名及び本学の研究責任者氏名〕

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院放射線科、コンピュータ画像診断学／予防医学講座
研究責任者 吉川健啓（コンピュータ画像診断学／予防医学講座・特任教授）

〔研究期間〕

2006年12月13日～2026年12月12日

〔対象となる方〕

1994年12月1日以降に当院にて各種画像検査を受けられた患者さん

〔研究の意義〕

各種画像診断装置の高速化・高機能化に伴う画像データの飛躍的増加により、画像診断における医師の負担が増大しています。このような背景から、各種コンピュータ支援検出／診断（computer-assisted detection/diagnosis; CAD）ソフトウェアの開発が、画像診断の効率・精度の向上を期待して進められています。

CADソフトウェアの開発に不可欠な技術や人的資源は、開発するCADソフトウェアの種類を問わず共通であるものが多いため、これらを共有することでCADソフトウェア開発の効率化が図れると考えられています。

〔研究目的〕

CADソフトウェアを開発するための基盤ならびに実際の画像を用いたデータベースを構築し、CADソフトウェア開発の効率化を目指します。

〔研究方法〕

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施されます。これまでに行われている画像検査のデータや所見などのデータを収集して行う研究ですので、特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の連絡先まで2025年12月31日までにご連絡ください。ご連絡を頂かなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

〔個人情報の保護〕

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの画像検査のデータ等は、使用する前に氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、研究責任者である林直人のもとで東京大学医学

部附属病院コンピュータ画像診断学／予防医学講座もしくは放射線科内のネットワークに繋がれていないパスワードロックをかけたスタンドアローンのパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名などに戻す操作を行います。

[研究結果の公表]

研究結果は、個人が特定できない形で学会等において発表されます。本研究で収集したデータは厳重な管理の下、研究終了後5年間保存されます。なお、本研究に対する説明を希望される方は下記までご連絡ください。

[その他]

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院コンピュータ画像診断学／予防医学講座の委任経理金および以下の科学研究費補助金から支出されています。また、本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

(研究経費として用いる科学研究費補助金)

- ・科学研究費補助金（基盤 C）研究課題名：医用画像における多量の架空正常画像および病変埋め込み画像の自動生成：花岡昇平
- ・科学研究費補助金（若手研究）研究課題名：EOB-MR 画像における肝結節性病変の診断支援の実用化：竹永智美
- ・科学研究費補助金（若手研究）研究課題名：予防医学の発展に向けた深層生成モデルによる人体の経年変化予測：柴田寿一

2023年7月20日

[問い合わせ先]

連絡担当者：野村行弘（コンピュータ画像診断学／予防医学講座 特任研究員（非常勤））

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-5800-8666（放射線科医局）

Eメールでのお問い合わせ：nomuray-ky@umin.ac.jp（@を半角に直してください）